

伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

学習決起集会に500人

TPP（環太平洋連携協定）参加反対学習決起集会が4月30日、JA本所で開かれ約500人が参加しました。学習決起集会には実行委員会のJA上伊那、上伊那農民組合など15団体と賛同23団体から参加しました。

集会では、鈴木宣弘東京大学大学院教授から「TPPとは何か」「TPPは日本の農業や医療制度も、国民の暮らしをも壊してしまいう制度」「特にアメリカが日本に求めている」ことなど詳しく話されました。その内容のひびきに、時々どよめきの声があがりました。

集会では、鈴木宣弘東京大学大学院教授から「TPPとは何か」



44ページにわたる資料を準備して熱弁をふるってくれた講師の鈴木宣弘東京大学大学院教授（正面）

「TPPの本質わかった」
参加者から怒りの声続出

「TPPが通れば健康保険証をなくされ、病院に行く時は大金を持たなければ診てもらえなくなる」とは驚いた。本当に困ります」（竜東Tさん）

「以前はTPPになると品物が安く買えて暮らしやすくなると聞いていたが、鈴木先生の話だと逆だ。農民も農協もつぶされ、私の暮らしも悪くなるんじゃないかと反対し食い止めなきゃあだめだ」（東春）

都議選にお力をお貸しください

各党が参院選の前しよう戦として激しくたたかっている東京都議会議員選挙は、6月23日投票で行われます。

共産党は、42人の候補者を先頭に猪瀬知事の都民無視の「逆立ち都政」を批判し、「日本共産党の議席は、暮らし・福祉第一」に都政の流れを変える確かな議席です」と訴え、支持拡大に全力をあげています。

東京にお住まいの方で、日本共産党候補者への支持をお願いできる方に、電話などで働きかけていただきますよう心から願っています。

5月30日

日本共産党伊那市委員会



近Nさん

「アメリカ政府とアメリカの一部の大企業主の要求とは知らなかった。日本の国益でなく、アメリカの国益に協力しろとはとてもない」（高遠Kさん）

「安倍首相が農機具に乗ったのをテレビで見たが、どこまで国民を騙すつもりなんだ」（竜西Hさん）

「TPPは農業・農民の事だと思っていた。日本の企業などが外国の労働者を自由に雇うようになればますます若い人の働く場がなくなってしまう。結局国民全体の問題ですね。危険なTPPのことを友達に話すようにしています」（竜東Oさん）

参加した各団体では、TPP参加阻止に向け、学習会や抗議行動などが実施、また計画されています。

地蜂

いま家庭菜園まった中。そこで種売り場を覗くとF1（一代交配）の種がなんと多いことか。トウモロコシは日本固定種が少なく、大根の市場では青首

大根。トマトの桃太郎は5品種もの交配でできたものとか▼ところでラウンドアップという除草剤がある。どんな雑草、植物も枯らしてしまう優れたモノだが、そのラウンドアップに耐性を有する作物（遺伝子組み換え作物＝GM）の種が同じ米国モンサント社から販売されている。矛と盾、どちらも強いのだ。大豆やトウモロコシ、ナタネ、テンサイなど既に世界中で使われている。こう原稿を記していた所にTPP集会。目からうろこの話ばかりで驚愕

▼鈴木宣弘教授の資料（伝専門誌論文）ではGMトウモロコシを食べたかラウンドアップと接触したマウス実験で50%から80%のメスでがん発生、早死にも多かった。米国はコメ、小麦、トウモロコシで1兆円の差額補填して安く輸出している。日本は輸出補助金ゼロ▼日本がTPPに参加したらアメリカが食料も種子も一元化管理し、日本人の人間の健康、命さえ握ってしまうのではないか、それはテロ以上に脅威ではないか。地球環境の持続のためには地元の固定種で育った食料を食べたいものだ。白毛餅、はびる菜、木曽の赤カブのすんき漬けなど伝統野菜が地域おこしに役買っていることは喜ばしい▼TPP絶対阻止のためにいまこそ「共産党ここにあり」をすべての業界との共闘で発揮しなければ。（K）

国民の苦難軽減の日本共産党に

参院議員 井上さとし

比例区
予定候補

障害者の社会参加の促進で連続して質問しました。

一つは、成年後見人をつける選挙権を失う問題。東京地裁が公選法の規定を違憲とする判決を出した直後、私は「控訴せず、速やかに法改正して選挙権を回復すべき」と要求。国は控訴しましたが、



世論の広がりの中で与党も法改正を打ち出し、参院で成立。今夏の参院選挙での選挙権が実現する方向となりました。うれしいことです。

もう一つは民事訴訟での障害者の裁判参加の保障です。今の民事訴訟手続きは、視覚障害者や、聴覚障害者にはとてもハードルが高いのです。

国民の苦難あるところに共産党あり。この党を大きく前進させてください。

参院選

党業者後援会のつどいに参加

参院長野選挙区予定候補 唐沢ちあき

24日、上伊那の党業者後援会のつどいに参加しました。

印刷業の男性の方は「円安で紙の値段が上がっている。円高になっても下がったことがない」。また、孫育て中の女性は「親の帰宅が深夜になって子育てできない。家を買いたいと思っても、とても買える給料ではない」と、それぞれに、今の営業や暮らしの厳しい実態について話してくれました。また、別の男性の「大手ハウスメーカーは、一人親方の大工を安い日当で働かせ



ている」とのお話には、参加者のみなさんも驚いていらつしました。

アベノミックスのメッキが剥がれてきています。「あなたの一言・一票が政治を変える一步」と周りの友人・知人に広げてください。みんなの怒りを結集して、このひどい政治を変えましょう。私も全真を駆け回ります。

TPP交渉参加、危険じゃね?

みんなで語り合う青年のつどい・第1弾

日本共産党上伊那青年後援会は、4月30日、TPP参加反対学習決起集会のあと、会場近くのレストランで、17人が参加し「みんなで語り合う青年のつどい」第1弾を開きました。

参加者からは「TPPは農業だけの問題とする、他の分野と対立させて問題の本質をそらすマスコミのやり方に怒りを感じる。それを打破できるように中身を知らせていきたい。いろいろな団体、職業の人たちと力を合わせたい」「TPP反対側の宣伝が足りない。今こそお金をつぎ込んで、マスコミに中身を知らせるCMを流したほうがいい」という鈴木先生のお話に同感。しかし、それを待っていてもしようがないので、できる宣伝行動は、みんなで草の根でやっていきたい」「国会議員の個人的な見解がTPP反対でも、TPP

推進の党に所属していればそれは実現不可能なので、政党の公約を見きわめて投票しよう。また、嘘をつかせないような世論を一緒に

作っていきましょー」などの感想や意見が出されました。

青年後援会では、続く第2弾、3弾のつどいも計画しています。



西春近支部



支部事務所でポスター張りの準備をする支部員ら

南北10km、東西は天竜川から中央アルプスの麓までの広大な地に約2千世帯、6千人余が住む地域で日本共産党の活動をしているのが西春近支部です。

参院選を目前にした5月

の支部会議は、「県道沿いの角の店が閉めたね」「出光スタンド跡に、また店が出来たかい」など地域の話が尽

共産党の支部活動

きません。会議では、住民の意見と国政とのかかわりも重視すると共に、出席者全員が討議に参加するように努め、当面の課題について丁寧話し合い、決めるようにしています。

5月は、3日の憲法集会参加をはじめ、参院選に向けた新しいポスターの張り出しを21日に完了させました。同時に「参院選で共産党が比例5議席獲得し前進するには党の支持を広げること、『しんぶん赤旗』を購読する人を増やさなければ」と行動計画を立てて、動きだしています。

酒井支部長は、党の活動に全員が参加することと共産党の支持者、「赤旗」読者にも協力を訴えて前進を勝ちとりたいと語っています。

「守ろう、命・暮らし」

メーデー伊那中央大会

第84回メーデー伊那中央大会は5月1日、JA上伊那フラワーホールで開かれ、約250人が参加しました。

円安や憲法9条をめぐる動き、原発再稼働、TPP参加、消費税増税など、安倍政権が進めようとしている国民の命と暮らしを脅かす政治を変えるために、みんなで力を合わせることを確認しました。

プラカードコンテストは、高教組 コンテストで入賞した上農高分会の駒工分会が優勝。



窓の市議

学童クラブを視察

柳川ひろみ

5月に入り市内の学童クラブを見学させていただきました。伊那西小・伊那小・美鷲小・高遠小です。

問題点については改善を要請しました。特に、高遠小の学童クラブは体育

集会後、会場から伊那北駅までシュプレヒコールをしながらデモ行進しました。



伊那北駅前までデモ行進
今年も要求がいっぱい

本堂のころはどうか

憲法・原発のシンポジウムで

3人が問題提起

5月3日、「原発と憲法を考える集い1」が、JA上伊那フラワーホールで開かれました。

信大名誉教授の野口俊邦さんは「憲法制定と『改正』の動向」に

館二階にあり夏は35度にもなります。38名が登録ですが、国の一人当たりの面積基準に近くなっています。児童の具合が悪くても、保護者がお迎えに来るまで休む部屋がありません。国基準では、別の部屋を確保するようになっていきます。

早急に移動が必要と教育委員会へ要請しました。



ついて。元高校社会科教師の小牧崇さんは「チェルノブイリの健康被害と福島」。また、中川村長の曾我逸郎さんは「民主主義と進化論」と、それぞれの立場から報告と問題提起がおこなわれました。

「憲法改正がねらっているもの」「隠されている放射能被害」「少数意見も世の中を動かす力になる」との提起。庶民はもっと真実を知ることが、社会を変える力を持ち得るということを教えてくれた集いでした。



参加者でいっぱい会場
報告者は曾我逸郎中川村長

参院選必勝へ！ 街頭宣伝元気に

参院選必勝に向けた共産党伊那市委員会の定時・定点点宣伝行動が、5月14日朝、春近大橋のもと（西春近）に7人が参加。15日の朝は、中央区交差点に4人、双葉と大萱の交差点付近に4人、新山橋のもとに2人が参加。共産党青年後援会が毎週水曜日に大萱交差点で蛙の縫いぐるみ等で宣伝行動に打って出しています。

この行動に、車窓から手を振ったり、クラクションを鳴らしたりの激励が各所で寄せられました。



6月7～9 釜石市へ支援 ボランティア急募

お米・野菜の提供、派遣費用募金のお願ひ

東北震災支援、今回は、岩手県釜石市の仮設住宅などで米・野菜・日用品を中心にした青空市を予定しています。支援に持っていく米・野菜・日用品の提供と派遣費用募金にご協力ください。

日程は7日（金）朝

伊那を出発し、夜、釜石市着。8日（土）青空市など。9日（日）帰路。

宿舎は遠野市内の党事務所か党员宅を予定しています。参加申し込み、お問い合わせは党上伊那地区事務所（72-2465）へ。

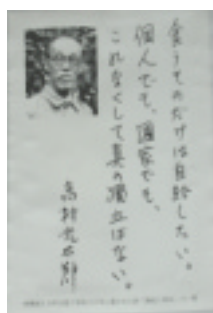


絵手紙

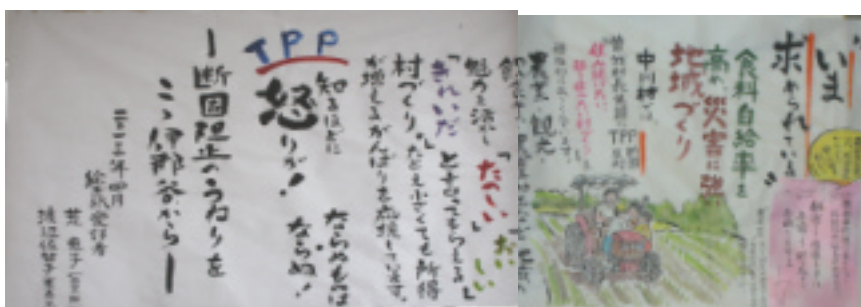
西箕輪 荒 恵子 東春近 渡辺佐智子 共同制作



大きさ たて90cm×よこ720cm



上の写真に続いて
1枚になります



上段中心部分を拡大

※この作品は、JA本所1階に
掲示されています

催し案内

- ☆ 「脱原発」いな金行動
毎週金曜日午後6時～6時30分
いなっせ北側広場
主催：さよなら原発上伊那の会
連絡先：医療生協組合員センター
- ☆ 原発と憲法を考える集い 2
6月8日(土) 午後2:00～4:30
JA本所3階フラワーホール
講師 小出裕章氏(京都大学原子炉実験所助教)
演題 「原発と憲法9条」
入場料 500円(5月3日との共通券を
お持ちの方はご持参ください)
主催：実行委員会
連絡先：久保田(78-0823)
- ☆ さわやかウォーキングINたつの
6月11日(火) 午前9時50分
辰野町北大出ふれあいセンター集合
主催：上伊那医療生協健康づくり委
連絡先：組合員センター(79-8702)
- ☆ 日本共産党演説会
6月30日(日) 午後2時
箕輪町文化センター
主催：日本共産党上伊那地区委員会

短歌

境 中村 正和

白薔薇の花芽は恥らい顔を出す

五月の日射しの優しさの中

百以上の花を見るバラ園で

名前はカタカナ読んで忘れる

「言ったかも知れないけれど」と断って

話す癖つく我は老いたか

原発は先端技術と信じおり

海水掛けて原発極まる

お便り、情報、原稿をお待ちしています。
どんなことでも結構です。
発行元までお寄せください。(編集部)